

令和5年5月22日

関係各位

学校法人 敬心学園
令和4年度 事業報告書



敬心クレド

—他人を敬い自らを律し、人々の心を最も大切にします—
—一人ひとりが輝いて生きる社会を創造します—

はじめに

令和4年は、3年間続いたコロナ禍が終息に向かう中で、以前からの課題であった労働人口の減少、およびそれに伴う働き方の変化を一層浮き彫りにする年になりました。

学園としては、DX推進により「新しい仕事のスタイル」の創造を念頭に、コロナ禍での取り組みを進化させて次のステップへの足掛かりを作る年でもありました。

教学マネジメントについては、「授業力向上の取り組み」として、学園横断的に学修効果「～が出来る」を目標とした授業の在り方を深掘りしていきました。

文科省委託事業においては、広く活用してもらえるVR教材開発や、介護分野におけるDX推進を念頭においた「スマート介護士」の進化に、他学校法人と連携しながら取り組みました。

日本医学柔整鍼灸専門学校では、ICTツールである「インタラクティブボード」を導入し、教室にいる学生とオンラインで参加する学生が、一体として授業に参加できる授業の在り方を模索していきました。

日本児童教育専門学校では、保育士のリーダー層育成プログラムである「保育園・幼稚園の施設長」および「保育現場の主任」を対象とする養成講座をスタートしました。職業教育分野での高等教育機関の一つの方向性として、資格取得後のスキルアップ支援等についても、内容の充実を図っていきたいと考えております。

日本リハビリテーション専門学校では、理学療法学科（昼間部）の入学定員を40名から80名に増やし、入学者の増強を図りました。

年明けに行われた各国家試験では、日本リハビリテーション専門学校 作業療法学科（夜間部）で合格率100%を達成したほか、日本福祉教育専門学校でも複数の学科で合格率や合格者数が全国1位となり、多くの学科で全国平均を上回る実績を残しました。

また東京保健医療専門職大学では、地元江東区との連携協定の推進に加え、リハビリテーションに関する健康指導や職業理解のための「出前出張講義」を、幼稚園から高等学校までの30校以上の教育機関において実施し、社会貢献を形にいたしました。

しかしながら、現状では学園の未来へ向けての展望が十分に開けているとは言えません。持続可能な発展（Sustainable Development）のためには、新しい魅力作りや新規事業開拓等で状況を打開する検討が必要であり、その具体策の立案に引き続き取り組んでまいります。

最後となりましたが、令和4年度も、地域及び関係行政機関、理事・評議員・監事の皆様方から多大なる御協力と御支援をいただきましたことに、敬心学園教職員を代表して、心からの感謝と御礼を申し上げますとともに、令和5年度も引き続きのお力添えをお願い申し上げます。

令和5年5月吉日

学校法人敬心学園
理事長 小林光俊

I. 法人の概要

1. 学園所在地

学校法人 敬心学園

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目32番15号

TEL 03-3200-9073 FAX 03-3200-9077

2. 設置する学校・学科等（令和4年度）

(1) 日本福祉教育専門学校

学 科	修業年数	入学定員	総定員
介 護 福 祉 学 科	昼間部2年	80名	160名
社会福祉士養成学科	昼間部1年	80名	80名
社会福祉士養成科	夜間部1年	80名	80名
精神保健福祉士養成学科	昼間部1年	80名	80名
精神保健福祉士養成科	夜間部1年	80名	80名
言語聴覚療法学科	昼間部2年	78名	156名
通 学 計		478名	756名
社会福祉士養成通信課程	通信1年7ヶ月	300名	600名
精神保健福祉士養成通信課程一般	通信1年7ヶ月	200名	400名
精神保健福祉士養成通信課程短期	通信9ヶ月	250名	250名
通 信 計		750名	1,250名
合 計		1,228名	2,006名

(2) 日本リハビリテーション専門学校

学 科	修業年数	入学定員	総定員
理 学 療 法 学 科	昼間部4年	80名	320名
理 学 療 法 学 科	夜間部4年	40名	160名
作 業 療 法 学 科	昼間部4年	35名	140名
作 業 療 法 学 科	夜間部4年	35名	140名
合 計		190名	760名

(3) 日本児童教育専門学校

学 科	修業年数	入学定員	総定員
総 合 子 ど も 学 科	昼間部3年	40名	120名
保 育 福 祉 科	昼間コース2年	120名	240名
保 育 福 祉 科	夜間主コース2年	80名	160名
合 計		240名	520名

(4) 日本医学柔整鍼灸専門学校

学 科	修業年数	入学定員	総定員
柔 道 整 復 学 科	昼間部 3 年	60 名	180 名
柔 道 整 復 学 科	夜間部 3 年	60 名	180 名
鍼 灸 学 科	昼間部 3 年	60 名	180 名
鍼 灸 学 科	夜間部 3 年	60 名	180 名
合 計		240 名	720 名

(5) 東京保健医療専門職大学

学 科	修業年数	入学定員	総定員
理 学 療 法 学 科	昼間部 4 年	80 名	320 名
作 業 療 法 学 科	昼間部 4 年	80 名	320 名
合 計		160 名	640 名

3. 役員 (令和 4 年 4 月 1 日現在)

(1) 理事 定数 12 名 実数 12 名

区 分	氏 名	常勤・非常勤	就 任 日
理事長	小林 光俊	常 勤	1986 年 4 月 1 日
理 事	陶山 哲夫	常 勤	2014 年 4 月 1 日
理 事	二瓶 隆一	常 勤	2015 年 8 月 1 日
理 事	奥田 久幸	常 勤	2015 年 8 月 1 日
理 事	大谷 修	常 勤	2016 年 4 月 1 日
理 事	草野 修輔	常 勤	2018 年 5 月 25 日
理 事	村 和男	非常勤	1986 年 4 月 1 日
理 事	青山 周	非常勤	2013 年 4 月 1 日
理 事	倉田 信靖	非常勤	2010 年 3 月 1 日
理 事	松澤 建	非常勤	2010 年 10 月 22 日
理 事	日高 憲三	非常勤	2017 年 5 月 22 日
理 事	鶴田 敦子	非常勤	2020 年 4 月 1 日

(2) 監事 定数 2 名 実数 2 名

区 分	氏 名	常勤・非常勤	就 任 日
監 事	中林 浩	非常勤	2010 年 4 月 1 日
監 事	上野 昂志	非常勤	2013 年 4 月 1 日

(3) 評議員 定数 25 名 実数 25 名

区 分	氏 名	区 分	氏 名
評議員	小林 光俊	評議員	肥後 義道
評議員	内野 滋雄	評議員	有本 邦洋
評議員	陶山 哲夫	評議員	小林眞祐美

評議員	奥田 久幸	評議員	藤原 良次
評議員	三浦 和彦	評議員	矢内 崇博
評議員	石垣 栄司	評議員	荒井 弘
評議員	阿久津 攝	評議員	上原 康弘
評議員	渡邊 勉	評議員	吉田 隆幸
評議員	川廷 宗之	評議員	吉岡 正毅
評議員	村 和男	評議員	菅原 亮
評議員	青山 周	評議員	瀬戸口律子
評議員	二瓶 隆一	評議員	前川 邦生
評議員	松山 慎司		

4. 教職員 (令和4年4月1日現在)

(単位：名)

学 校 名	教員		職 員 (アルバイト除く)
	専 任	非常勤	
日本福祉教育専門学校	35	101	24
日本リハビリテーション専門学校	36	89	15
日本児童教育専門学校	18	90	15
日本医学柔整鍼灸専門学校	24	59	19
専 門 学 校 計	113	339	73
東京保健医療専門職大学	52	42	21
合 計	165	381	94

II. 事業の概要

1. 専門学校教育事業

(1) 学生募集

令和5年4月入学者数は、通学課程960名（昨年比4名増100.4%）、通信課程618名（同69名減90.0%）、合計1,578名（同65名減96.0%）であった。

※（令和5年5月1日現在）

専門学校グループの学生募集状況では、日本福祉・日本リハ・日本医専の3校が昨年を上回ったが、日本児童が昨年を大きく下回る結果であった。

学校別の状況としては、日本福祉ではコロナ禍での入国制限による留学生減少の影響を受け、昨年から25名減少となった。日本リハでは昨年定員増(40→80名)を行った理学療法学科（昼間部）が定員を充足した。日本児童では入学制度変更の影響から、入学者の大幅減少に繋がった。日本医専では新規来校獲得や歩留まり率の改善により安定的に入学生を獲得することができた。

専門学校ではグループ4校がそれぞれの取り組みを適宜共有し、イベントの集客施策、SNSを活用したオウンドメディアへの流入強化策、学生スタッフの活用法など、お互いに学び合いながら学生募集活動を行った。また、高校2年生対策など早期の学生募集活動にも積極的に取り組んだ。

(2) 国家試験結果（令和5年3月31日現在）

国家資格名	学校名	学科	受験者	合格者	合格率	全国平均
介護福祉士	日本福祉教育専門学校	介護福祉学科（日本人）	28	27	96.4%	84.3%
		介護福祉学科（留学生）	45	30	66.7%	
社会福祉士	日本福祉教育専門学校	社会福祉士養成学科 ^(昼)	80	79	98.8%	44.2%
	日本福祉教育専門学校	社会福祉士養成科 ^(夜)	70	63	90.0%	
	日本福祉教育専門学校	通信	246	183	74.4%	

精神保健 福祉士	日本福祉教育 専門学校	精神保健福祉士 養成学科(昼)	48	43	89.6%	71.1%
	日本福祉教育 専門学校	精神保健福祉 士養成科(夜)	33	32	97.0%	
	日本福祉教育 専門学校	通信(一般)	119	92	77.3%	
	日本福祉教育 専門学校	通信(短期)	244	228	93.4%	
言語聴覚士	日本福祉教育 専門学校	昼間部	71	53	74.6%	67.4%
理学療法士	日本リハビリテー ション専門学校	昼間部	36	35	97.2%	87.4%
	日本リハビリテー ション専門学校	夜間部	32	30	93.8%	
作業療法士	日本リハビリテー ション専門学校	昼間部	25	21	84.0%	83.8%
	日本リハビリテー ション専門学校	夜間部	22	22	100%	
柔道整復師	日本医学柔整 鍼灸専門学校	昼間部	44	23	52.3%	49.6%
	日本医学柔整 鍼灸専門学校	夜間部	28	15	53.6%	

はり師	日本医学柔整 鍼灸専門学校	昼間部	58	33	56.9%	70.4%
	日本医学柔整 鍼灸専門学校	夜間部	48	39	81.3%	
きゅう師	日本医学柔整 鍼灸専門学校	昼間部	58	35	60.3%	71.7%
	日本医学柔整 鍼灸専門学校	夜間部	48	39	81.3%	

※留年生は含まれておりません

参 考	学校名	対象者	取得者	取得率
保育士	日本児童教育専門学校	187	187	100%
幼稚園教諭二種	日本児童教育専門学校	31	19	61.3%

(3) 就職状況（令和5年3月31日現在）

学 校 名	就職希望者	就職者	就職率
日本福祉教育専門学校	280	266	95.0%
日本リハビリテーション専門学校	108	108	100%
日本児童教育専門学校	170	162	95.3%
日本医学柔整鍼灸専門学校	170	147	86.5%
合 計	728	683	93.8%

(4) 中退率削減に向けた取り組み

学園横断で「中退率削減プロジェクト会議（月1回）」を定例で開催。

以下の内容を中心に、グループ各校の共通課題について積極的に取り組んだ。

① 月次で中退率改善に向けたデータの分析と打ち手を共有した。

- ・同じ科目を3回欠席した学生数のデータ把握と分析
- ・学科別における要支援学生の早期把握と打ち手の共有
- ・毎月の取り組み（打ち手）の振り返りと成果の共有
- ・月次で学科別中退者の着地見込み数の算出とアクションプランの共有

② 共通テーマを設定し各校の取り組みを共有した。

- ・テーマ：『授業アンケート結果の活用法について』
- ・テーマ：『入学前教育について』 など

③ 学園教職員対象のセミナー（オンライン）を開催し、延べ150名の教職員が受

講した。

- ・セミナー1：『通信制高校出身者の特徴とその対応方法とは』
- ・セミナー2：『学生が前向きにスタートするための仕掛けとは』

(5) 授業力向上に向けた取組み

本年度は、シラバスを軸とした学習成果および授業力向上の取り組みとして、『適切な評価方法（学生の成績評価や定期試験等）の在り方』をテーマとしたアンケートを実施し、実態の把握を行った。

また、アンケートをもとに『評価(学習効果測定)に関する基本理解』の動画を制作し、「評価」に関する共通理解に努めた。

2. 東京保健医療専門職大学教育事業

令和2年4月に開学。建学の精神「健常者・障がい者、若年者・高齢者など多様な人々が共生できる社会の実現と発展」に基づき、積極的な「産業界及び地域社会との連携」の中で、共生社会の実務リーダーの育成を目指す。

【専門職大学の概要】

(1) 大学名：東京保健医療専門職大学

(2) 設置場所：東京都江東区塩浜 2-22-10

(3) 学部・学科、入学定員 / 初年度納付金：

リハビリテーション学部

・理学療法学科 (80名) / 190万円 (実習費を含む)

・作業療法学科 (80名) / 190万円 (実習費を含む)

(4) 修業年限：4年

(5) 開学：令和2年4月

(6) カリキュラムの特長：

「保健医療の国家資格の取得」を目指すとともに、「①基礎科目」「②職業専門科目」に加え「③展開科目」「④総合科目」の4つのカテゴリから成るカリキュラムを提供する。保健医療の領域を超え様々な企業・団体・地域と連携し、実践的な学びの場を提供する。

(7) 卒業後の進路：

「専門性」、「実践力」、「応用力」、「創造性」を身につけ、保健医療業界を中心に、共生社会の実現の担い手として民間企業への就職も視野に入れる。

令和5年度の入学者は、理学療法学科79名(前年-2名)、作業療法学科55名(前年同数)、合計134名(前年-2名)であり、入学定員には届かなかった。完成年度を迎え、在籍者は、理学療法学科275名(前年+68名)、作業療法学科176名(前年+47名)、合計452名(前年+115名)となった。

3. 調査研究事業

職業教育における研究、開発、革新と成果・知見の実証や実践適用を目的に、職業教育研究開発センターが以下の活動を行った。

(1) 研究活動

- ・「VR や AR などの先端技術を活用した現場実践能力の高い専門的対人援助職員の効果的な養成教育プログラム開発」(文科省委託研究事業/3 年目)
- ・「テクノロジーを活用して介護 DX を進める現場実践能力の高い介護職の効果的な養成プログラム開発及びその就職・転職に関する有効性を確認する実証研究」(文科省委託研究事業/補正予算のため単年度での実施)
- ・「日本の介護事業経営における事業継続計画 (BCP) の策定実態およびコロナ禍対応における有効性の検証等 (Resilient Long-term Care for the Elderly in COVID-19 Pandemic)」
令和 4 年 8 月に国際ウェビナーを開催し、研究成果を報告。令和 5 年度に最終報告書が完成予定 (Economic Research Institute for ASEAN and East Asia/東アジア・アセアン経済研究センター委託研究事業)
- ・ICF をベースとした「介護福祉」の枠組みと教育内容に関する研究 (中国ハルビン職業技術学院との連携教育研究事業)

(2) 教員の教育力向上に向けた取り組み

授業力向上プロジェクトにて、「成績評価方法の改善」をメインテーマに取り組みを行った。オンデマンド型で「成績評価」についての研修を実施した。

(3) 学園内研究支援制度の実施

本制度は、学園内の教職員がそれぞれの教育現場に活かすための実践的な研究活動を支援するもので、本年度は 2 件の活動を支援した。

(4) 教員研修の企画・実施

教育の質向上に向け、新入教員向け導入研修、評価に関するオンデマンド研修を実施した。

(5) 敬心研究ジャーナルおよびニュースレター (機関紙) の発行

敬心研究ジャーナルとして春・秋に年 2 回 (第 6 巻の 1 号と 2 号) 発行した。

また、本学園の教育領域に関する実践活動、研究に関する最新情報等を学内外に発信・共有していくための機関紙「ニュースレター」を 3 か月ごとに第 20 号から 23 号まで発行した。

(6) 職業教育研究集会の開催

第 19 回職業教育研究集会 (旧・敬心学園学術研究会) を、令和 4 年 11 月にオンラインにて実施した。

4. 国際教育事業

職業教育の国際展開、海外教育機関等との提携による国際教育事業に注力した。

- (1) 中国ハルビン職業技術学院から実施要請のあった介護教員養成プログラムを検討。令和 5 年度の実施を調整中。
- (2) インドネシア OS セルナジャヤ社における介護技能実習生養成教育のプログラム・教材開発、講師養成、学修成果評価事業については、現地教育実施後の評価業務を継続して受託した。

以上

Ⅲ. 財務の概要

1. 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対する全ての収入及び支出の内容並びに、当該会計年度における支払資金（現金預金）の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。

令和4年度における資金収入の部合計は、前年度繰越支払資金を含め7,898百万円となります。主に、専門職大学と専門学校の納付金と前受金の収入です。

資金支出の部は、翌年度繰越支払資金を除くと、4,742百万円となります。この結果、翌年度繰越支払資金は3,156百万円となり、資金が177百万円減少します。

収入の部		(単位：百万円)			
科 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
学生生徒等納付金収入	3,168	3,221	3,435	3,497	
手数料収入	44	41	50	51	
寄付金収入	0	0	0	0	
補助金収入	49	132	111	91	
受取利息・配当金収入	2	2	0	0	
雑収入	90	52	83	141	
前受金収入	2,349	2,574	2,614	2,764	
その他の収入	545	668	759	714	
資金収入調整勘定	△ 2,340	△ 2,496	△ 2,652	△ 2,693	
前年度繰越支払資金	3,938	3,853	3,660	3,333	
収入の部合計	7,845	8,047	8,060	7,898	
支出の部					
科 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
人件費支出	1,732	1,933	2,083	2,141	
教育研究経費支出	890	891	989	1,029	
管理経費支出	662	628	666	690	
借入金等利息支出	31	30	28	26	
借入金等返済支出	59	170	167	167	
施設関係支出	71	40	52	31	
設備関係支出	121	38	72	31	
資産運用支出	0	16	1	0	
その他の支出	1,185	1,365	1,458	1,315	
[予備費]					
資金支出調整勘定	△ 759	△ 724	△ 789	△ 688	
翌年度繰越支払資金	3,853	3,660	3,333	3,156	
支出の部合計	7,845	8,047	8,060	7,898	

2. 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書を「教育活動による資金収支」「施設整備等活動による資金収支」「その他の活動による資金収支」に区分し、活動区分ごとの収支の状況を明らかにするものです。

教育活動収支差額 18 百万円は、主に専門職大学の前受金の増加によるものです。施設整備等活動収支差額△57 百万円は、専門学校 4 校の設備購入より生じたものです。その他の活動資金収支差額△138 百万円は、専門学校の施設借入返済によるものです。

(単位：百万円)

科 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
教育活動による資金収支				
教育活動資金収入計	－	3,446	3,679	3,780
教育活動資金支出計	－	3,452	3,738	3,860
差引	－	△ 6	△ 59	△ 80
調整勘定等	－	151	△ 2	98
教育活動資金収支差額	－	145	△ 61	18
施設設備等活動による資金収支				
施設整備等活動資金収入計	－	0	0	0
施設整備等活動資金支出計	－	78	123	62
差引	－	△ 78	△ 123	△ 62
調整勘定等	－	△ 91	15	5
施設整備等活動資金収支差額	－	△ 169	△ 108	△ 57
小計（教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額）	－	△ 24	△ 169	△ 39
その他の活動による資金収支				
その他の活動資金収入計	－	574	604	599
その他の活動資金支出計	－	743	762	737
差引	－	△ 169	△ 158	△ 138
調整勘定等	－	0	0	0
その他の活動資金収支差額	－	△ 169	△ 158	△ 138
支払資金の増減額（小計+その他の活動資金収支差額）	－	△ 193	△ 327	△ 177
前年度繰越支払資金	－	3,853	3,660	3,333
翌年度繰越支払資金	－	3,660	3,333	3,156

3. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該会計年度の活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容及び基本金組入後の均衡の状況を明らかにするものです。

令和4年度における事業活動収支計算書の状況は、教育活動収支差額△240百万円、教育活動外収支差額△26百万円、特別収支差額△2百万円、その結果、基本金組入前当年度収支差額は△268百万円の支出超過となり、専門職大学の運営費用増加によるものです。

(単位：百万円)

科 目		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	3,168	3,221	3,435	3,497
		手数料	44	41	50	51
		経常費等補助金	49	132	111	91
		雑収入	90	52	83	141
		教育活動収入計	3,351	3,446	3,679	3,780
	支出	人件費	1,732	1,941	2,090	2,155
		教育研究経費	979	1,004	1,109	1,145
		管理経費	688	654	689	715
		徴収不能額等	8	13	8	5
		教育活動支出計	3,407	3,612	3,896	4,020
教育活動収支差額		△ 56	△ 166	△ 217	△ 240	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	2	2	0	0
		教育活動外収入計	2	2	0	0
	支出	借入金等利息	31	30	28	26
		教育活動外支出計	31	30	28	26
	教育活動外収支差額		△ 29	△ 28	△ 28	△ 26
経常収支差額		△ 85	△ 194	△ 245	△ 266	
特別収支	収入	資産売却差額	0	0	0	7
		特別収入計	0	0	0	7
	支出	資産処分差額	16	10	6	9
		特別支出計	16	10	6	9
	特別収支差額		△ 16	△ 10	△ 6	△ 2
[予備費]						
基本金組入前当年度収支差額		△ 101	△ 204	△ 251	△ 268	
基本金組入額合計		△ 138	△ 257	△ 273	△ 222	
当年度収支差額		△ 239	△ 461	△ 524	△ 490	
前年度繰越収支差額		622	383	△ 78	△ 602	
翌年度繰越収支差額		383	△ 78	△ 602	△ 1,092	

(参考)

事業活動収入計	3,353	3,448	3,679	3,787
事業活動支出計	3,454	3,652	3,930	4,055

4. 貸借対照表

貸借対照表は、当該会計年度末の財政状況（運用資産と調達源泉）を明らかにするものです。

令和4年度末の財務状況は、資産の部合計が11,912百万円となり、前年度末より△255百万円減少となりました。固定資産の減価償却と専門職大学の運営費の現預金支出によるものです。負債の部は5,144百万円、前年度末より13百万円の増加となり、主に、専門職大学の前受金の増加によるものです。基本金は、当期組入分と過年度末組入の当年度組入分、222百万円を組入れました。

資産の部

(単位：百万円)

科 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
有形固定資産	8,455	8,391	8,365	8,300
特定資産	0	0	0	0
その他の固定資産	220	237	235	235
流動資産	4,049	3,917	3,567	3,377
資産の部合計	12,724	12,545	12,167	11,912

負債の部

科 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
固定負債	2,456	2,284	2,115	1,960
流動負債	2,777	2,974	3,016	3,184
負債の部合計	5,233	5,258	5,131	5,144

純資産の部

科 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
第1号基本金	6,835	7,092	7,365	7,587
第4号基本金	273	273	273	273
基本金合計	7,108	7,365	7,638	7,860
翌年度繰越収支差額	383	△78	△602	△1,092
純資産の部合計	7,491	7,287	7,036	6,768
負債及び純資産の部合計	12,724	12,545	12,167	11,912

5. 財務比率

財務比率は、貸借対照表や事業活動収支計算書などにより各比率を算出し、経年変化の追跡や全国平均との比較を行い、経営内容を分析するため計算した指標です。

《事業活動収支計算書関係比率》

(単位：%)

項目	算式	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	51.6%	56.3%	56.8%	57.0%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	29.2%	29.1%	30.1%	30.3%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	20.5%	18.9%	18.7%	18.9%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	94.4%	93.4%	93.4%	92.3%
減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	3.4%	3.8%	3.6%	3.5%
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	-2.5%	-5.6%	-6.7%	-7.0%

《貸借対照表関係比率》

(単位：%)

項目	算式	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	58.9%	58.1%	57.8%	56.8%
前受金保有比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	165.9%	142.9%	125.9%	112.6%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	145.8%	131.7%	118.3%	106.1%
負債率	$\frac{\text{総負債} - \text{前受金}}{\text{総資産}}$	22.9%	21.5%	20.4%	19.6%

《活動区分資金収支計算書関係比率》

(単位：%)

項目	算式	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	—	4.2%	-1.7%	0.5%

1. 令和5年4月度 入学者数報告(令和4年度の活動により集めることができた入学者)

令和5年5月1日現在

1) 日本福祉教育専門学校

学科	昼夜	定員 A	令和5年度		令和4年度	入学者数 前年比 B/C
			入学者数 B	定員充足率 B/A	入学者数 C	
介護福祉学科	昼間	80	54	67.5%	70	77.1%
社会福祉士養成学科	昼間	80	82	102.5%	83	98.8%
社会福祉士養成科	夜間	80	81	101.3%	74	109.5%
精神保健福祉士養成学科	昼間	80	76	95.0%	56	135.7%
精神保健福祉士養成科	夜間	80	38	47.5%	34	111.8%
言語聴覚療法学科	昼間	78	72	92.3%	46	156.5%
通学計		478	403	84.3%	363	111.0%
社会福祉士養成通信課程	通信	300	238	79.3%	290	82.1%
精神保健福祉士養成通信課程一般	通信	200	129	64.5%	120	107.5%
精神保健福祉士養成通信課程短期	通信	250	251	100.4%	277	90.6%
通信計		750	618	82.4%	687	90.0%
合計		1,228	1,021	83.1%	1,050	97.2%

2) 日本リハビリテーション専門学校

理学療法学科	昼間	80	83	103.8%	68	122.1%
理学療法学科	夜間	40	27	67.5%	26	103.8%
作業療法学科	昼間	35	26	74.3%	27	96.3%
作業療法学科	夜間	35	17	48.6%	16	106.3%
合計		190	153	80.5%	137	111.7%

3) 日本児童教育専門学校

総合子ども学科	昼間	40	25	62.5%	33	75.8%
保育福祉科 昼間コース	昼間	120	103	85.8%	117	88.0%
保育福祉科 夜間主コース	夜間	80	41	51.3%	74	55.4%
合計		240	169	70.4%	224	75.4%

4) 日本医学柔整鍼灸専門学校

柔道整復学科	昼間	60	55	91.7%	44	125.0%
柔道整復学科	夜間	60	45	75.0%	54	83.3%
鍼灸学科	昼間	60	67	111.7%	66	101.5%
鍼灸学科	夜間	60	68	113.3%	68	100.0%
合計		240	235	97.9%	232	101.3%

専門学校 合計(除く通信課程)		1,148	960	83.6%	956	100.4%
専門学校 合計(含む通信課程)		1,898	1,578	83.1%	1,643	96.0%

5) 東京保健医療専門職大学

理学療法学科	昼間	80	79	98.8%	81	97.5%
作業療法学科	昼間	80	55	68.8%	55	100.0%
合計		160	134	83.8%	136	98.5%

学園 合計(除く通信課程)		1,308	1,094	83.6%	1,092	100.2%
学園 合計(含む通信課程)		2,058	1,712	83.2%	1,779	96.2%

2. 令和5年4月度 総在籍者数報告

令和5年5月1日現在

1) 日本福祉教育専門学校			令和5年度						令和4年度
学科	昼夜	総定員 A	1年	2年	3年	4年	合計 B	定員 充足率 B/A	定員 充足率 B/A
介護福祉学科	昼間	160	54	68			122	76.3%	91.9%
社会福祉士養成学科	昼間	80	82				82	102.5%	103.8%
社会福祉士養成科	夜間	80	81				81	101.3%	92.5%
精神保健福祉士養成学科	昼間	80	76				76	95.0%	70.0%
精神保健福祉士養成科	夜間	80	38				38	47.5%	42.5%
言語聴覚療法学科	昼間	156	72	37			109	69.9%	76.3%
通学計		636	403	105	0	0	508	79.9%	80.7%
社会福祉士養成通信課程	通信	600	243	295			538	89.7%	99.7%
精神保健福祉士養成通信課程一般	通信	400	132	124			256	64.0%	65.0%
精神保健福祉士短期養成通信課程短期	通信	250	259				259	103.6%	110.8%
通信計		1,250	634	419	0	0	1,053	84.2%	90.8%
総合計		1,886	1,037	524	0	0	1,561	82.8%	87.4%

2) 日本リハビリテーション専門学校									
理学療法学科	昼間	240	86	52	39	30	207	86.3%	90.5%
理学療法学科	夜間	160	30	25	29	37	121	75.6%	81.9%
作業療法学科	昼間	140	27	25	35	27	114	81.4%	85.0%
作業療法学科	夜間	140	17	14	23	25	79	56.4%	63.6%
合計		680	160	116	126	119	521	76.6%	81.3%

3) 日本児童教育専門学校									
総合子ども学科	昼間	120	25	27	27		79	65.8%	78.3%
保育福祉科 昼間コース	昼間	240	105	114			219	91.3%	98.3%
保育福祉科 夜間主コース	夜間	160	41	72			113	70.6%	80.0%
合計		520	171	213	27	0	411	79.0%	88.1%

4) 日本医学柔整鍼灸専門学校									
柔道整復学科	昼間	180	56	39	35		130	72.2%	81.1%
柔道整復学科	夜間	180	45	52	44		141	78.3%	78.9%
鍼灸学科	昼間	180	67	62	55		184	102.2%	103.3%
鍼灸学科	夜間	180	68	67	64		199	110.6%	103.9%
合計		720	236	220	198	0	654	90.8%	91.8%

※専門学校合計※

合計(除く通信課程)		2,556	970	654	351	119	2,094	81.9%	85.5%
合計(含む通信課程)		3,806	1,604	1,073	351	119	3,147	82.7%	87.3%

5) 東京保健医療専門職大学									
理学療法学科	昼間	320	79	83	56	57	275	85.9%	86.3%
作業療法学科	昼間	320	57	56	52	11	176	55.0%	53.8%
合計		640	136	139	108	68	451	70.5%	70.0%

※学園合計※

合計(除く通信課程)		3,196	1,106	793	459	187	2,545	79.6%	83.0%
合計(含む通信課程)		4,446	1,740	1,212	459	187	3,598	80.9%	85.3%

3. 令和4年度 退学者数・除籍者数報告

令和5年5月1日現在

1) 日本福祉教育専門学校

学科	昼夜	令和4年度						令和3年度
		目標	在籍者数 A	退学者数 B	除籍者数 C	退学率 B/A	退学・除籍率 (B+C/A)	退学・除籍率 (B+C/A)
介護福祉学科	昼間	6.8%	147	5	2	3.4%	4.8%	5.8%
社会福祉士養成学科	昼間	3.6%	83	2	1	2.4%	3.6%	1.2%
社会福祉士養成科	夜間	1.4%	74	2	1	2.7%	4.1%	2.8%
精神保健福祉士養成学科	昼間	6.6%	56	7	0	12.5%	12.5%	12.5%
精神保健福祉士養成科	夜間	4.8%	34	1	0	2.9%	2.9%	2.5%
言語聴覚療法学科	昼間	4.9%	119	11	0	9.2%	9.2%	9.6%
合計		5.0%	513	28	4	5.5%	6.2%	6.3%

2) 日本リハビリテーション専門学校

理学療法学科	昼間	5.0%	181	16	1	8.8%	9.4%	9.5%
理学療法学科	夜間	5.0%	131	8	0	6.1%	6.1%	9.4%
作業療法学科	昼間	5.0%	119	3	0	2.5%	2.5%	3.2%
作業療法学科	夜間	5.0%	89	5	0	5.6%	5.6%	9.7%
合計		5.0%	520	32	1	6.2%	6.3%	8.1%

3) 日本児童教育専門学校

総合子ども学科	昼間	4.7%	94	7	0	7.4%	7.4%	9.3%
保育福祉科 昼間コース	昼間	5.6%	236	15	0	6.4%	6.4%	6.6%
保育福祉科 夜間主コース	夜間	3.6%	128	5	0	3.9%	3.9%	7.2%
合計		5.0%	458	27	0	5.9%	5.9%	7.5%

4) 日本医学柔整鍼灸専門学校

柔道整復学科	昼間	3.6%	146	15	0	10.3%	10.3%	7.2%
柔道整復学科	夜間	6.5%	142	15	1	10.6%	11.3%	9.7%
鍼灸学科	昼間	5.3%	186	11	1	5.9%	6.5%	4.8%
鍼灸学科	夜間	4.4%	187	5	0	2.7%	2.7%	2.8%
合計		5.0%	661	46	2	7.0%	7.3%	5.8%

5) 東京保健医療専門職大学

理学療法学科	昼間	4.6%	207	11	0	5.3%	5.3%	3.1%
作業療法学科	昼間	5.3%	129	8	0	6.2%	6.2%	2.6%
合計		5.0%	336	19	0	5.7%	5.7%	2.9%

学園 合計		5.0%	2,488	152	7	6.1%	6.4%	6.4%
-------	--	------	-------	-----	---	------	------	------